

配偶者控除、配偶者特別控除に異動がある方の記載例

給与所得について年末調整を受けた方で、配偶者控除及び配偶者特別控除に異動がある場合

【第一表】

この申告書は、国税庁HP確定申告等作成コーナーで作成できます

手順1
7ページ
参照

手順2
8ページ
参照

手順3
13ページ
参照

マイナンバー
(個人番号)を
記入する必要
があります。

明治・「1」
大正・「2」
昭和・「3」
平成・「4」

手順4
21ページ
参照

○黒字の場合…
100円未満の端数を
切り捨てた金額
(黒字の金額が
100円未満の場合
は「0」を記入し
ます。

○赤字の場合…
金額の頭に「△」
又は「-」をつけ
てそのままの金額
を記入します。

手順5
26ページ
参照

該当する事項
がある方のみ
記入します。

手順5
26ページ
参照

還付される税
金がある方
のみ記入します。

○ ○ 税務署長 平成 30 年 2 月 18 日 所得税及び復興特別所得税の確定申告書B FA0124

住所 XXX-XXXX 個人番号 XXXXXXXXXXXXX
フリガナ コクセ イ タロウ
氏名 国税 太郎
職業 会社員 年齢 34 性別 男
生年月日 3 49 11 16 電話番号 XXX-XXXX-XXXX

収入金額等	所得金額	所得から差し引かれる金額	税	その他の	延納	還付
事営業等 ⑦	事営業等 ①	雑損控除 ⑩	課税される所得金額 ⑲	配偶者の合計所得金額 ④⑨	申告期限までに納付する金額 ⑤⑦	還付される税金等 ⑤⑧
業農業 ⑧	業農業 ②	医療費控除 ⑪	⑲-⑳又は第三表 ⑳	青色申告特別控除額 ⑤①	0 0	0 0
不動産 ⑨	不動産 ③	社会保険料控除 ⑫	上の㉑に対する税額 ㉒又は第三表の㉓	配偶者特別控除額 ⑤②	0 0	0 0
利子 ⑩	利子 ④	生命保険料控除 ⑬	配当控除 ㉔	配偶者特別控除額 ⑤③	0 0	0 0
配当 ⑪	配当 ⑤	地震保険料控除 ⑭	28	平均課税対象金額 ⑤④	0 0	0 0
給与 ⑫	給与 ⑥	寄附金控除 ⑮	29	延納届出額 ⑤⑧	0 0	0 0
公的年金等 ⑬	雑 ⑦	寡婦、寡夫控除 ⑯	30	還付される税金等 ⑤⑧	0 0	0 0
その他 ⑭	総合課税・一時 ⑧	勤労学生、障害者控除 ⑰	31	還付される税金等 ⑤⑧	0 0	0 0
短期 ⑮	⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭	配偶者特別控除 ⑱	32	還付される税金等 ⑤⑧	0 0	0 0
長期 ⑯	合計 ⑨	扶養控除 ㉕	33	還付される税金等 ⑤⑧	0 0	0 0
一時 ⑰	5 2 2 6 0 0 0	基礎控除 ㉖	34	還付される税金等 ⑤⑧	0 0	0 0
合計 ⑱	5 2 2 6 0 0 0	合計 ㉗	35	還付される税金等 ⑤⑧	0 0	0 0
所得金額	合計 ⑩		36	還付される税金等 ⑤⑧	0 0	0 0
5 2 2 6 0 0 0	2 3 1 9 1 9 6		37	還付される税金等 ⑤⑧	0 0	0 0
所得金額	合計 ㉘		38	還付される税金等 ⑤⑧	0 0	0 0
2 3 1 9 1 9 6			39	還付される税金等 ⑤⑧	0 0	0 0

○ 記載手順については、この記載例で示している「平成30年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書B用」の該当ページを参照してください。

- ◎ 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから、黒いインクのボールペンで、強く記入します。
- ◎ 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。

- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にあって、マス目の中に丁寧に記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にあって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にあって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。



【第二表】

(配偶者(特別)控除に関する事項)
年末調整の際に配偶者控除を受けていたが、妻(国税良子)には平成30年中においてパートによる給与収入金額が190万円(給与所得金額115万円)あった。

※ 記載例中における社会保険料の金額は、実際の金額とは異なります。

平成 30 年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書 B

FA0078

住所 ○○市△△町×-×-×
氏名 国税 太郎

所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
給与	○○株式会社 ○○区○○×-×-×	7,140,000	169,500

所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額 169,500

配偶者の氏名 国税良子 生年月日 明大 49.7.20

配偶者控除 配偶者特別控除

個人番号 XXXXXXXXXXXXX

平成30年分からの配偶者特別控除の対象となる配偶者の所得金額が引き上げられています。(下記参照)

住民税 国税 二郎 XXXXXXXXXXXXX

非課税所得など 不動産所得から差し引いた青色申告特別控除額

手順1
7ページ
参照

手順2
8ページ
参照

24ページ
参照

手順6
27ページ
参照

手順3
13ページ
参照

控除対象配偶者、同一生計配偶者や扶養親族などのマイナンバー(個人番号)も記入する必要があります。

平成30年分から配偶者(特別)控除が変わります。

- ① 配偶者控除の金額が、配偶者の合計所得金額のほか、申告する方の合計所得金額に応じて適用されることとなりました。なお、申告する方の合計所得金額が1,000万円を超える場合には、配偶者控除の適用を受けることができません。
- ② 配偶者特別控除の金額が改正されたほか、対象となる配偶者の合計所得金額が38万円超123万円以下とされました。(改正前：38万円超76万円未満)

※詳しくは、「平成30年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書B用」をご覧ください。

(参考) 給与所得の源泉徴収票

平成30年分 給与所得の源泉徴収票

支払 を受け る者	住所 又は 居所	〇〇市△△町×-×-×										(受給者番号)									
												(役職名)									
		氏名 (フリガナ) コクゼイ タロウ																			
		名 国 税 太 郎																			
種 別	支 払 金 額			給 与 所 得 控 除 後 の 金 額			所 得 控 除 の 額 の 合 計 額			源 泉 徴 収 税 額											
給与・賞与	内	千	円	千	円	千	円	千	円	千	円										
	7	140	000	5	226	000	2	589	196		169	500									
(源泉)控除対象配偶者の有無等	配偶者(特別)控除の額	控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。)			16歳未満扶養親族の数			障害者の数(本人を除く。)		非居住者である親族の数											
有	有	千	円	人	人	人	人	人	人	人	人										
○	380	000	1				1														
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額			地震保険料の控除額			住宅借入金等特別控除の額													
内	千	円	千	円	千	円	千	円	千	円	円										
	1,073	196	105	000	21	000															
(摘要)																					
生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額	円	旧生命保険料の金額	円	介護医療保険料の金額	円	新個人年金保険料の金額	円	旧個人年金保険料の金額	円	旧長期損害保険料の金額	円									
	25,000		35,000		90,000						25,000										
住宅借入金等特別控除の内訳	住宅借入金等特別控除回数	年	月	日	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	年	月	日	住宅借入金等年末残高(1回目)	円	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	年	月	日	住宅借入金等年末残高(2回目)	円					
(源泉・特別)控除対象配偶者	(フリガナ) コクゼイ リョウコ	氏名	国 税 良 子	区分	配偶者の合計所得	0	国民年金保険料等の金額		旧長期損害保険料の金額												
控除対象扶養親族	1	(フリガナ) コクゼイ イチロウ	氏名	国 税 一 郎	区分	16歳未満の扶養親族	(フリガナ) コクゼイ ジロウ	氏名	国 税 二 郎	区分	(備考)										
		個人番号																			
	2	(フリガナ)	氏名		区分			(フリガナ)	氏名		区分										
		個人番号							(フリガナ)	氏名		区分									
	3	(フリガナ)	氏名		区分			(フリガナ)	氏名		区分										
		個人番号						(フリガナ)	氏名		区分										
	4	(フリガナ)	氏名		区分			(フリガナ)	氏名		区分										
		個人番号						(フリガナ)	氏名		区分										
未 成 年 者	外 国 人	死 亡 退 職	災 害 者	乙 種 障 害	本人が障害者 特 別	妻 婦 特 別	寡 婦	動 労 学 生	中途就・退職		受給者生年月日										
									就職	退職	年	月	日	明	大	昭	平	年	月	日	
											30					○		49	11	16	
(受給者交付用)	住所(居所)又は所在地	〇〇区〇〇 ×-×-×																			
	氏名又は名称	〇〇産業株式会社																			
											(電話)	××-××××-××××									

【ご注意】

◎ 支払者から受領した「給与所得の源泉徴収票(原本)」を添付書類台紙に貼って提出しなければなりません。